

◆ 荏田高校の1年(進路)

■ 進路カレンダー

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	●進路希望調査 ●進路適性検査 ●実力テスト			●面談週間			●キャンパス訪問		●実力テスト ●社会人講和			
2年	●進路希望調査 ●実力テスト		●系統別進路説明会	●面談週間	●オープンキャンパス			●大学等出張講義 ●実力テスト		●志望理由書対策	●進路希望調査	
3年	●各種ガイダンス (推薦、AO、看護、就職等)	●進路ガイダンス	●実力テスト	●センター試験説明会	●オープンキャンパス ●会社見学 ●個別面談	●推薦入試校内選考					●個別指導	

■ キャリア教育の年間スケジュール

■ 本校でのキャリア教育

- 本校では、自分自身の生き方や将来を見据えた進路選択をしてもらうため、多様なサポートプログラムを展開しています。
- 本校独自の「進路の手引」、「進路適性検査」、「スタディサポート※」、「模擬試験」などを取り入れ、個別の進路指導をしています。
 - 各学年の進路準備段階に応じて、大学等からの専門家を招いての「キャリア講演会」、専門講師による「大学等の分野別説明会」を開催しています。
 - 実力テスト実施後には、教員対象の実力テスト分析会を実施し、その内容を生徒にフィードバックしています。
 - 進路室では、各学校の学校案内の間覧ができ、入試問題の貸し出しを行っています。
- ※「スタディサポート」業者による英・国・数の3教科テストで、生徒一人ひとりの学力の状態や学習習慣をチェックするアセスメントです。

■ 本校と締結した高大連携大学による学び

- 連携大学の専修大、神奈川大、國學院大に行つて講義を受け、その学習成果が本校の単位として認定されます。
- 大学からの出張講義で、本校での特別講義、セミナー等を実施しています。
- 大学のキャンパス見学や研究室訪問などを行います。

大学からの出張講義例

- 國學院大学…隷変 漢字の大変革『文学部日本文学』 □神奈川大学…「アングル・トム」を読む『英語英文学』
- 専修大学…家族と医療の法律問題『法律』 □東京都市大学…電気電子工学とは『電気・電子工学』

■ 大学や企業等と連携した将来への学び

- 長期休業中に行つた企業や施設における就業体験(インターンシップ)活動は、その成果が本校の単位として認定されます。

■ 大学合格状況

()は既卒生内数

大 学	H 30 年度		H 29 年度		H 28 年度	
	一般	推薦	一般	推薦	一般	推薦
公立						
神奈川県立保健福祉					2	2
首都大学東京						
名古屋					1(1)	
群馬			1(1)			
横浜国立					1	1
東京海洋			1			
私立						
青山学院	4				2(2)	
麻布			2	1	3	1
亜細亜	1		1		7	
桜美林	5	4	7	8	15	4
大妻女子	1	4		3	2	1
学習院						
神奈川	10(3)	13	21(3)	12	31(1)	12
神奈川工科	3(1)	1	8(2)	4	9	1
鎌倉女子		4		1	2	2
関東学院	8(1)	7	14(4)	5	18	5
北里	1(1)		1	2		
国立音楽			1			
慶應義塾	1					
工学院	1		1(1)		2	2
國學院	1(1)	2	5(1)	6	10	7
国際武道		1		1	1	1
国土館	3	3	6	3	6(2)	2
駒澤	4(2)	4	3(1)	3	13(1)	3
駒沢女子	3				1	
相模女子	3	6	7	2	7	3
公立						
産業能率	2	6		4	14	5
実践女子			2			
芝浦工業					2(2)	
淑徳				1		
順天堂	2(1)		2		1(1)	
上智						
成蹊				1	2	
成城					5(2)	
専修	5(1)	10	8(2)	14	29(2)	12
創価			1(1)	1	5(1)	1
拓殖	1		1		4	1
多摩	2		1		2	1
私立						
玉川	1	10	2	3	4	3
中央	1(1)	2	1	1	3(1)	1
鶴見		1	1		1	1
帝京	8	3	4	2	10(1)	1
帝京科学	1(1)	5	2	1		
帝京平成		2	2		1	1
桐蔭横浜	1	5	3	4	9	3
東海	13(2)	8	17(4)	6	22(1)	9
東京医療保健					1	
東京家政			1		2	1
東京家政学院					1	1
東京経済	1	2	1(1)	2	3	2
東京工科	1	1	3	1	4	2
東京工芸	2		2(1)			

推薦は、指定校・公募等を含む



■ 卒業生からのメッセージ

《東京都市大学 工学部》

私は、指定校推薦で進学しようと考えていたため、1年生の時から良い成績をとるように心掛けていました。そのために意識したことは、日々の勉強の積み重ねです。

私が荏田高校に入学した理由は、体操競技に真剣に取り組みたかったからです。部活動は夜遅くまであり、テスト前でも休みはありませんでした。良い成績がとれないことを競技のせいにはしませんでした。授業をしっかりと聞き、授業内で理解するようにしました。分からないことは授業後すぐに先生に質問するなど、小さなことを続けてきました。定期テストの問題は授業で学んだこと、理解したことがほとんどで、勉強する時間が短くても良い点数、良い成績を取ることにつながりました。

私が進路をはっきりと決めたのは、3年生の夏になってからです。2年生の科目選択は、好みから理科系を選択しました。周りとは違って進路を決めたのが遅く、さらに夏休み中も部活動をしていたので、空いている時間で大学のことを調べ、オフの日には積極的にオープンキャンパスに参加し、やっと大学を決めました。そして今までコツコツと積み重ねてきた勉強と成績のおかげで、志望する大学の指定校推薦をもらうことができました。

試験は面接のみだったので、いろいろな先生にお願いし、面接練習を行いました。先生方が何度も重ねて練習して下さったおかげで、緊張したものの無事に試験を終え、合格することができました。進路決定が遅かったにもかかわらず自分の行きたい道へ進めたのは、1年生の時から良い成績をとっていたからだと思います。

勉強するということは、良い成績をとるための手段というだけでなく、将来の選択肢を広げるものだと思います。学ぶことで新たな世界を知ることができます。将来の道がはっきりと決まっていることは良いことだと思いますが、もしも決まっていなければ、授業に真剣に取り組んでみて下さい。勉強してみてください。視野が広がり、やりたいことが見つかると思います。さらに、本当にやりたいことが見つかった時に走って行ける強い原動力になります。

皆さん頑張ってください。心から応援しています。

《東京海洋大学 海洋生命科学部》

私は中学生の頃から海や医療に興味があり、その関係の大学で勉強したいと思っていました。学費の面で私立の大学に通うのは厳しかったので、高校1年生の夏休みに国公立大学を目指すことにしました。

高校1年生の秋頃、荏田高校に国公立大学の指定校推薦があると聞いて、推薦を受けるために必要な英検2級の合格を目標にし、この頃から英単語・英熟語の暗記や英文法の勉強を始めました。英検には一度落ちてしまいましたが、高校2年生の夏に合格することができました。ところが、その大学の指定校推薦の学部は私の興味のある内容と離れていたため、悩み、結局自分の興味のある内容が学習できる東京海洋大学を志望することにしました。志望校は変わりましたが、英語を3年生になる前に勉強したことは海洋大に合格するときまで強みになりました。

受験勉強で大変だったのは、東京海洋大学の受験科目に英語・国語・社会・数学ⅠⅡⅢに加えて理科が2科目必要であり、荏田高校では理科では古典を取りにくく、さらに私の学年では理科の基礎な科目を2科目履修することができなかったため、古典と化学を独学で勉強しなければならなかったことです。そのときになって、受験科目が具体的に決まっていなかった1年生の頃に国語総合や化学基礎の授業をしっかり受けていたこと、荏田高校の国語や化学の先生に勉強方法や勉強について疑問に思ったことを質問しに行くと、丁寧に教えてくださったことがかなり助けになりました。

また、私は数学の成績が伸びないことを長い間不安に思っていました。しかし数学の先生が半年以上朝の補習を行ってくださったおかげで、センター試験や二次試験で利用する数学の苦手意識が無くなり、さらに朝早く登校することで生活習慣を維持することまでできました。

受験勉強を通して感じたことは早く行動することの大切さです。自分がどのような進路に進むか、そのために何が必要かを3年生になる前に情報収集して方向性のある程度具体的に考えた方がいいと思います。